

## キーポート・ソリューションズ

モバゲー向けにゲーム配信スタート  
為替レートを予想する「外為JP」

キーポート・ソリューションズは4月11日より、モバイル向けゲームポータルサイト「Mobage(モバゲー)」のサービスとして、現実の外国為替の値動きを予想して遊ぶ新感覚ゲーム「外為JP」の配信を開始した。

外国為替の値動きをルーレットの出目に見立てて予想し、チップを増やす。値動きは実際のリアルタイムデータをゲーム用にアレンジしたもので、現実さながらの緊張感あふれる予想を楽しめる。

「FX入門」や「チャート入門」等のアイテムが用意されており、ゲームで遊びながら外国為替やチャートについて学ぶこともできる。同社は個人の投資スキルの向上と直接金融の発展に貢献することを目的とした日本最大級(会員40万人)の投資シミュレーションサイト「K-ZONE(ケイゾン)」を運営している。この実績を生かし、本ゲームの海外展開とMobage向けゲームの拡充を予定している。

## ■外為JP ゲームコンテンツ(携帯サイト)

<http://pf.mbgga.jp/12004880>

(Mobageトップページより) ゲーム > 「外為JP」で検索

※ゲームコンテンツのアクセスは、Mobageの登録(無料)が必要です。

## ■外為JP紹介ページ(PCサイト)

K-ZONE「外為JP」

<http://www.k-zone.co.jp/gaitamejp/>

## ■ゲームイメージ

じっくりモード で遊ぶ場合



お問い合わせ先: キーポート・ソリューションズ  
K-ZONE(ケイゾン) ソーシャルゲーム担当  
TEL: (03)3523-8639  
e-mail: pr@k-zone.co.jp

## インテック

インテックがシステムを提供  
せたがやeカレッジ5周年

「インターネット市民塾システム」を利用している「せたがやeカレッジ」の5周年記念式典が2月25日に駒澤大学で行われた。

せたがやeカレッジは世田谷区内の4大学(東京農業大学、駒澤大学、昭和女子大学、国士舘大学)と世田谷区教育委員会が共同で運営する学習サービスで、試行運用を経て2005年に正式に発足した。大学ならではの専門性とバラエティに富んだ講座を受講できるほか、区民も講師として講座を開くことができる。世田谷の豊かな知識財を区民だけでなく全国に向けて発信しており、現在は延べ5000人が参加している。

式典には世田谷区教育長をはじめ各大学の副学長、インテック担当者などが出席し、東京農業大学の高野克己副学長が「日本の食糧問題を考える」と題して記念講演を行った。



挨拶する 岸山 睦 せたがやeカレッジ代表

せたがやeカレッジ <http://setagaya-ecollege.com/>

※インターネット市民塾  
インテックの提案により、産学官の共同研究を経て開発した。平成11年に富山インターネット市民塾が発足して以来、全国に広がっている。インテックはシステム提供サービス、運用支援サービス、コンサルテーションなどを行っている。

## 北国インテックサービス

## 北国銀行の人事情報システム刷新を受注

北国インテックサービスは「POSITIVE-Financial Edition(電通国際情報サービス製)」を用いた、北国銀行の人事情報システム刷新を受注した。現在の人事情報システムの老朽化に伴うもので、今年12月の稼働を予定している。

北国銀行では、業務効率化を図るだけでなく、行員が持つ資格やスキルの情報を共有するとともに、行員同士のコミュニケーションツールとしても利用することにしている。

お問い合わせ先: 北国インテックサービス TEL: (076)266-3000

## インテック

エンタープライズ向けクラウドサービス基盤「EINS/SPS」に新サービス  
Hadoopを利用した分散処理基盤サービス

インテックは3月、EINS/SPSで提供するサービスの一つとして、Hadoopを利用した分散処理基盤の提供・構築・運用サービスを始めた。EINS/SPSは仮想サーバホスティングサービスやストレージサービスなどから構成される高品質・高可用性のエンタープライズ向けクラウドサービス基盤である。Hadoopは膨大なデータを分析・活用する手段として注目されるオープンソースのソフトウェア基盤だが、これまではB2C分野での利用がほとんどで、高い品質や信頼性が要求される企業の基幹業務システムで利用するには多くの課題があった。

また、利用するには多数のサーバと高速ネットワーク機器が必要であり、さらにそれらのサーバを一つの仮想処理基盤として運用・管理する必要がある。インテックは、Hadoopの実行インフラ基盤と、それを構成するサーバ・ネットワーク機器の運用サービスをEINS/SPSのメニューに加えることによって、大容量データの分析処理や基幹業務システムを高速に実行できる環境を提供する。

今後はさらに、大量データの分析・活用方法の提案、導入検証サービス、既存のバッチアプリケーションのHadoop環境への移行サポートなどのサービスを展開していく予定。

## ウルシステムズのHadoopフレームワーク「Asakusa」で採用

本サービスは、ウルシステムズのHadoopフレームワーク「Asakusa Framework™」でも利用されている。

Asakusaは、基幹業務システムのバッチ処理の高速化を目的としたソフトウェア。Hadoop上にバッチ処理に必要な開発・実行・運用の環境を備えている。Hadoopに詳しくないエンジニアでもAsakusa上で簡単にシステム開発できるため、分散処理技術によるメリットを広い分野に適用できる。実際に採用されたケースでは、Asakusaを利用することで4時間かかっていたバッチ処理が数分で完了した例もあるとのこと。

お問い合わせ先: インテック ネットワーク&アウトソーシング事業本部 TEL: (045)451-2580 e-mail: net\_info@intec.co.jp

## インテック

## INTEC Cloud Conference 2011 を開催

インテックは2月、INTEC Cloud Conference 2011を東京、富山、名古屋、大阪で開催した。

約200名が来場した東京会場(ベルサール八重洲)ではまず、インテックの金岡克己社長が「クラウド時代の到来は、インテックの理想“コンピュータ・ユーティリティの実現”を別の言葉で表したのも、今回のカンファレンスを通じてクラウドの現状とインテックの取り組みをご理解いただきたい」と挨拶した。

続いて、株式会社大和総研の鈴木孝一専務取締役が「コーポレートガバナンスの強化と情報化戦略-ガバナンスに効くITを目指して-」と題して基調講演した。ビジネスのガバナンスはITのガバナンスからと前置きした上で、大和総研が7年間にわたって推進したインフラの刷新、業務の効率化を紹介、「クラウド技術を利用して自社に眠っているリソースの再利用・



大和総研の鈴木孝一専務取締役

標準化を推進することが肝要」と述べた。

その後、トップツアー株式会社の安原弘文IT戦略部長がGoogle Appsを利用した業務効率化の事例を、また、株式会社プラネットの石金克也課長が基幹システムをインテックのEINS/SPS上へ移行して内部統制やIFRS、事業継続性、セキュリティなどの要件を実現した事例を紹介した。

富山や名古屋、大阪会場でも用意した席が不足するほどの盛況であり、クラウドへの関心の高まりが伺えた。

お問い合わせ先: インテック クラウドインテグレーション部 TEL: (03)5665-6595

スカイインテック

「facebookページ」の制作サービスを開始

インテックグループの広告会社スカイインテックは、企業がfacebook上で情報発信とファンの獲得ができる「facebookページ」の制作サービスを始めた。

facebookは世界最大のSNSでそのユーザー数は6億人を突破、日本でのユーザー数も急増している。大きな特徴は会員の「実名登録」で、これにより情報の信頼性が増し、ビジネスに結びつく現実的な関係構築がしやすいといわれている。

企業が情報発信する際に利用する「facebookページ」はホームページをfacebook内に開設するイメージだが、SNSの特性を生かした顧客との親密な関係の構築はもちろん、オンラインショップ開店やアンケートの実施など様々な展開が可能である。また、就職活動の学生向けサービスでリクルートと提携していることから、就職活動をする学生がよ

り積極的に利用できるようになれば、学生向けに情報発信を行いたい企業の注目が一気に高まることも予想される。

スカイインテックはホームページ制作の豊富な実績を生かし、デザイン性と機能性のあるfacebookページの制作を行っていく。

スカイインテックのfacebookページ: <http://www.facebook.com/skyintec>  
 ホームページ: <http://www.skyintec.co.jp/>  
 お問い合わせ先: 076-431-8366 e-mail: info@skyintec.co.jp  
 ※SNS…ソーシャル・ネットワーキング・サービス  
 社会的ネットワークをインターネット上で構築するサービスのこと



スカイインテックのfacebookページ

日本一を目指せ! ビリヤードのトップアマとして活躍中

データセンターで、オペレーションとオペレータ管理に携わる忠海昌久さん(カスタマサービスセンター)は、実はビリヤードのトップアマの一人だ。昨年9月のプレ国体での優勝に続き、毎年秋に行われる全日本アマチュアスリークッション選手権での優勝を狙う。



Q ビリヤードを始めたきっかけは?

A. 初めてビリヤードに触れたのは小学校4年生の時です。身長が低く満身に構えることもできませんでしたが、私がとても興味を持ったので、父が高下駄をオーダーしてくれ、それを履いて練習しました。その後、映画「ハスラー2」に影響され、のめりこんでいきました。

Q スリークッションというのは?

A. 一般的に知られているビリヤード台とは違い、穴が無く一回り大きい台を使います。ボールは3つ(白・黄・赤)あり、白か黄のどちらかのボールを撞いて、他の2つのボールに当てます。ただし、2つめに当てるまでの間に台の4辺に3回以上接触させなければなりません。昨年、広州で開催されたアジア大会でも正式種目になっています。

Q その魅力は?

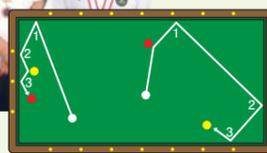
A. ビリヤード競技の中でも難度が高く、ショットの成功率はプロでも55%程度、世界トッププロでも65%程度です。その中で思い通りのショットができたときの達成感が最大の魅力です。

Q これからの目標は?

A. ビリヤードでの当面の目標はアマチュア日本一です。昨年優勝したプレ国体以上に歴史と格式のある大会として、全国アマチュアスリークッション選手権があります。それに優勝して名実ともに日本一になり、トップアマとして活躍し続けたいです。仕事の面でも、システム運用においてのスペシャリストとしてより優れたマネジメントを行っていきたくと思っています。



プレ国体の表彰式  
忠海昌久さん(左から2人目)



スリークッションの当て方の例

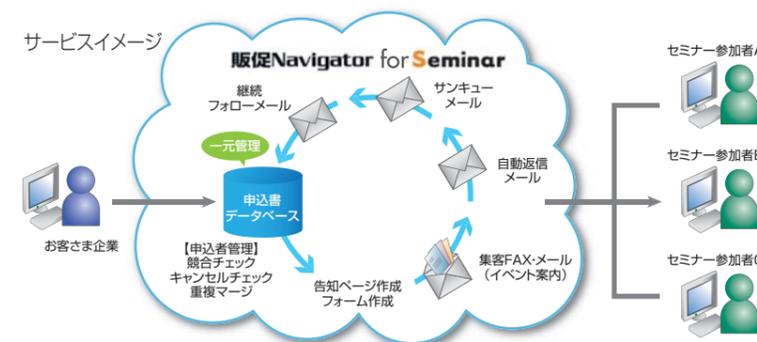
ネクスウェイ

『販促Navigator for Seminar』  
セミナー運営業務を一元管理し、マーケティングを支援

ネクスウェイは2月、セミナーに特化したクラウドアプリケーションサービス「販促Navigator for Seminar」の提供を開始した。

同サービスは、ネクスウェイのFAX一斉同報サービスに、シャノン社が提供するクラウドアプリケーション「SHANON MARKETING PLATFORM」のセミナー管理機能とメール配信エンジンを連携したもので、セミナーの告知やWeb申込フォームの作成、集客、受付、受講確認などセミナー運営に関する煩雑な作業を自動化することで、業務効率化やコスト削減を実現する。初期費用は30,000円、月額利用料は50,000円。

ネクスウェイは同サービスの提供とともに、自らのセミナー運営で培ってきた運営ノウハウや、多くの企業セミナーの集



客支援で蓄積された集客ノウハウを生かし、企業のマーケティング施策を支援する提案も行っていきます。

お問い合わせ先: TEL 0120-341890  
 e-mail: clp@nexway.co.jp  
 販促Navigator for Seminarについて  
<http://www.nexway.co.jp/promotion/marketingsp/service/index02.html>

ネクスウェイ

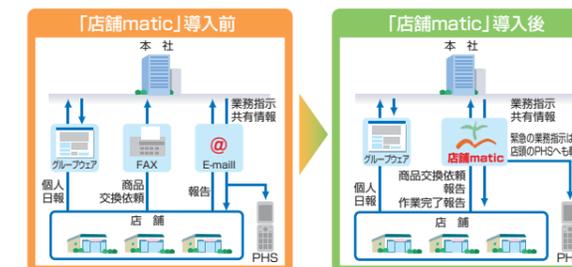
ノジマの本部店舗間コミュニケーションで採用  
多店舗運営支援クラウドサービス『店舗matic』

ネクスウェイの多店舗運営支援クラウドサービス「店舗matic」が、IT・デジタル専門店カンパニー、ノジマの本部店舗間コミュニケーションのIT基盤として採用された。

100を超える店舗を首都圏、関東甲信越で展開するノジマは、本部から各店舗への業務指示をメールやグループウェアで行っていたが、情報量が多く、指示の進捗管理や徹底を確認することが困難だった。ネクスウェイは、メールやFAX、書面、電話等による指示・連絡の発信元、発信先、分量等を分析して課題を可視化する「本部・店舗間コミュニケーション分析サービス」を実施、その結果、「店舗matic」というメールに代わる仕組みを提案した。

「店舗matic」は、本部店舗間のコミュニケーション基盤を提供するクラウドサービス。お知らせ機能、情報回収(回答フォーム作成、集計)機能、情報ポータル機能等により、本部店舗間の情報共有とコミュニケーションの質を向上させる。

『店舗matic』導入前後のイメージ



これによって、店舗では「より接客に集中」できるとともに、「戦略・施策の確実な実施」と「報告・共有の徹底、スピードアップ」が実現できる。

ノジマは2010年9月から全店舗で利用しており、コスト削減や業務効率化などの定量的効果に加え、本部からの計画を確実に実行し、成果を把握、さらに次へのアクションへといったPDCAサイクルの体制整備に大きな効果があったと評価している。

詳細はこちら: [http://www.nexway.co.jp/case/scene/tempo\\_2.html](http://www.nexway.co.jp/case/scene/tempo_2.html)  
 お問い合わせ先: TEL 0120-341890  
 e-mail: clp@nexway.co.jp